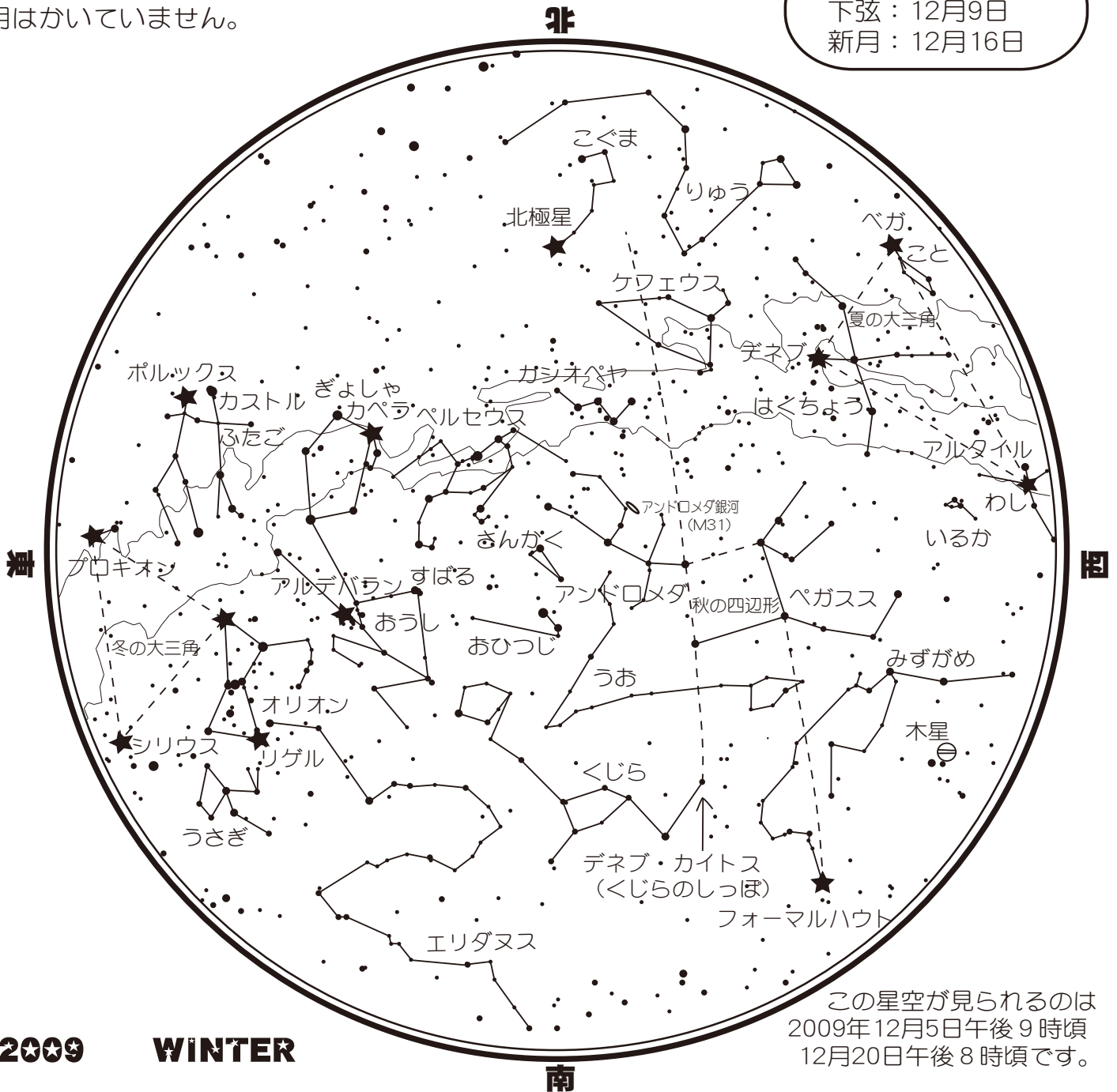


姫路で見る12月前半の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にしてください。
★は一等星を表しています。
月はかいていません。

満月：12月2日
下弦：12月9日
新月：12月16日



この星空が見られるのは
2009年12月5日午後9時頃
12月20日午後8時頃です。

2009 WINTER

★三角、四角を目印に★

夜空の星座たちは季節ごとに分けられ、三角や四角の分かりやすい目印から探すことができます。

西の空にははくちょう座のデネブ、こと座のべが、わし座のアルタイルからなる「夏の大三角」が見えています。頭の上を飛び越していくペガサス座の胴体は「秋の四角形」です。四角形の西の一边を南西へのぼすと瓶を持つ少年の姿のみずがめ座や秋の星座で唯一のフォーマルハウトが見つかります。また、四角形をクリップで挟むような星並びは、二匹

の魚がひもで結ばれたうお座の姿です。頭の上から北の空では、エチオピア王家物語のアンドロメダ姫やカシオペア王妃、ケフェウス王勇者ペルセウスの星座たちが夜空を飾ります。少し離れた所には、ペルセウスに退治され石になって海に沈んだお化けくじらの姿も見られます。

東の空には冬の星座の星が輝いています。オリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンからなる「冬の大三角」からおうし座やぎよしゃ座、ふたご座も探してみましよう。